まき歯科新聞

第19号
〈毎月第3火曜日〉

抜けた子どもの歯はどこへ？

今年のお正月は暖かくて、過ごしやすかったですね！みなさん、どんな年明けを迎えられましたか？私は家族サービスに尽きます☆娘たちも普段会えない従弟と大はしゃぎ！『ずっとお正月でいいね☆』…母さんは困ります（汗）

お正月明けに、冬休み中の小学生のお子さんにあった時、『歯抜けたよ～!!』と大喜びの報告を受けました。ほとんどのお子さんが小学校入学前後にこの『歯っかけ』状態を経験するのですが、この笑顔がたまらなくかわいい!!歯が抜けたのはもちろんですが、大人の歯が生えてくる期待と嬉しさにキラキラしているようにみえるのです☆我が家の娘たちはまだまだ先の話ですが、待ち遠しい日です。

ところで、抜けた子どもの歯をどうしますか？歯科で聞いてみると、『屋根（もしくは縁の下など）に投げた』という意見と『とうてある』という意見と半々。私が子どもの頃は、祖父に『上の歯は縁の下、下の歯は屋根の上に投げるときれいな丈夫な歯がはえてくる』と教えられたものでした。おかげでグラグラしていた上の前歯をラーメンとともに飲み込んでしまった時は『歯がはえてこないかも!!』と内心ドキドキしたものでした。

この『投げる』というのは日本特有の風習のよう。世界を見渡せば様々な風習があるのです。隣国の中国や韓国、シンガポールなどアジア地域では、日本と同じく『上の歯は縁の下、下の歯は屋根の上に投げる』なのですが、アメリカやカナダ、イギリスなどでは『夜寝る時に枕の下に抜けた歯をおいておくと、眠っている間に歯の妖精がきてコインにかえてくれる』そうです。またメキシコやフランス、スペインなどでは『歯の妖精』ではなく『ネズミ（リスや小鳥と言われることも）』が持っていくのだとか。またコスタリカやチリでは、イヤリングやペンダントにして身につけるのだそう。方法は様々ですが、どれもきれいな歯がはえてくるようにとの願いがこめられたもの。

まき歯科でも、お子さんはもちろん、みなさんの輝く歯を今年も守っていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

健口から健康のお手伝い
まき歯科
院長 副島真紀

診療時間 月～金曜 10：00 ～ 12：30/14：00 ～ 20：00
土・祝日 10：00 ～ 14：00

診療科目 歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科
※訪問診療も行っております。

島原市上新丁 1-4158-1 あんしんハウス島原 1F　TEL.64-5077